

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	パイルドラフト基礎の設計法検討小委員会		主 査 名：土屋 勉 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：中井 正一
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎指針改定を見据えたパイルド・ラフト基礎の設計方法の検討 ・ 1 年目：現行指針の課題とパイルド・ラフト基礎に関する現状把握 ・ 2 年目：簡易法を中心とした具体の設計方法の検討 ・ 3 年目：パイルド・ラフト基礎の設計法の提案 (PD 開催および報告書作成) 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：公募無し		
	土屋勉 (室蘭工大)、山本春行 (広島大)、山崎雅弘 (岡山理科大)、松尾雅夫 (安井建築設計)、山下清 (竹中工務店)、金子治 (戸田建設)、眞野英之 (清水建設)、佐原守 (大林組)、長尾俊昌 (大成建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	パイルド・ラフト基礎の設計法 (鉛直) WG：パイルド・ラフト基礎の鉛直問題 (支持力・沈下) に関する設計法の検討 パイルド・ラフト基礎の設計法 (水平) WG：パイルド・ラフト基礎の水平抵抗に関する設計法の検討		
2010 年度予算	760,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 5 回の活動計画に対し 7 回開催。 2. 小委員会と鉛直・水平 WG を基本的に同日に開催。 3. 2011 年大会での PD 案を企画。
委員会活動の問題点・課題	1. 来年度は最終年度で設計法の提案の検討に入るの、両WGに設計実務経験者の追加を考えたい。